

7. 4 壮瞥町滝之町ゆーあいの家泉源調査

(担当)：高橋徹哉・鈴木隆広

壮瞥町からの依頼により、公営温泉施設「ゆーあいの家」泉源において、泉源評価を行うため、揚湯履歴、坑井内調査（坑内物理検層）、湧出能力評価および泉質分析を実施した。調査は平成20年11月25日～11月27日の3日間で実施した。調査の結果、深度703m付近でケーシングパイプの閉塞・埋没による坑井障害が確認されたが、湧出能力評価では顕著な能力低下や泉質の変化は認められず、温泉資源としては安定した状況にあることが判明した。

8. 各部計上調査研究

8. 1 上川支庁管内における地質・地下資源調査

(担当)：川上源太郎・大津 直・廣瀬 亘・鈴木隆広・小澤 聡・田近 淳

本研究は、上川支庁管内において農業農村整備事業をはじめ各種公共事業等により実施されてきた膨大な地質調査データを収集・編纂し、GISベースの地質図・ボーリング柱状データベースおよび解説書として整備し、農業農村整備事業の円滑な推進に資することを目的とする。

上川支庁管内を南部・中央部・北部に3地区に分け、各地区毎に1年、計3ヶ年で調査を実施する予定である。

平成20年度は上川中部地域（旭川市・愛別町・上川町・鷹栖町・当麻町・美瑛町・東神楽町・東川町・比布町）について調査を実施し、各種ボーリング資料の収集・整理・電子化、縮尺1/5万での地質図の編纂とGIS化、地質解説書の電子出版を行なった。これらのデータは上川支庁地盤情報システムに登録され、現在仮運用されている。

8. 2 温泉保護対策調査

(担当)：柴田智郎・高橋徹哉

今年度は、道・医務薬務課からの要請により、札幌市内平野部、函館市湯川温泉地区および十勝地域において、温泉保護対策に係る調査および技術指導を行った。

札幌市内平野部においては水位、温度、湧出量の観測データの回収と解析を行った。函館市湯川温泉地区および十勝地域（帯広市、音更町、幕別町）においては、泉源実態調査（水位、泉温、湧出量の測定等）に同行し、水位や湧出量の測定方法や今後の調査の進め方等について技術指導を行った。

8. 3 不適正処理防止初動体制強化事業

(担当)：高見雅三・遠藤祐司・高橋 良

本事業は、環境生活部環境局循環型社会推進課不法投棄対策グループが実施している事業で、産廃110番に通報された不適正処理事案のうち、廃棄物が地中に埋められ、実行者又は行為が悪質かつ物理探査が有効と判断された事案に対し、現地調査の際に、物理探査を実施することにより、廃棄物の有無を判断し、不適正処理事案の早期発見、早期解決に寄与するとともに、効果的効率的な探査手法の確立と、浅層構造の高精度解析技術開発を研究目的としている。

平成20年度は、2箇所で地中レーダーを実施した。A地区は、調査前日に降雨があり、かつ透水性の悪い地盤のため、地下深部の情報が得られず、不法投棄と思われる異常域を検出できなかった。また、掘削の結果からも通報にあるような不法投棄物を確認できなかった。

B地区は、火山灰が分布する地域で、探査条件が良く、比較的深部までの情報を得ることができた。この結果、不法投棄と思われる異常域が検出され、掘削の結果、ほぼ通報にあるような不法投棄物を確認できた。